

平成 29 年度 研究助成 対象者一覧 A 申請 (2 2 件)

No.	氏 名	職名	研究課題名
1	鈴木 怜奈 すずき れいな	神戸学院大学人文学部・研 究院	大規模地震災害時に活用すべき「神戸の教訓」と「被災地支援」の 在り方に関する研究－阪神・淡路大震災時の地方公務員作成資 料を素材に－
2	市川 秀之 いちかわ ひでゆき	千葉大学教育学部・准教授	少数派の意見を活かした道徳授業－熟議民主主義 に基づく道徳授業の開発と実践を通して－
3	有井 晴香 ありい はるか	京都大学アジア・アフリカ地 域研究資料センター・特任 研究院	現代エチオピア農村社会における子どもの遺棄と保 護・養育に関する道徳的観念の変容
4	相原 博 あいはら ひろし	法政大学文学部・兼任講師	屈辱から人間の尊厳を考える－A・マルガリートによる 「品位ある社会」の構想とドイツにおけるその受容－
5	石井 哲也 いしい てつや	北海道大学安全衛生本部・ 教授	ミトコンドリア操作を伴う実験的生殖医療の倫理:ジェ ンダーと血縁を手がかりとして
6	笠木 丈 かさぎ じょう	フランス社会科学高等研究 院 (EHES)・博士課程	アンリ・バルクソンとガブリエル・タルドに関する比較研究:存 在論に依拠した社会理論のアクチュアリティ
7	鈴木 賢一 すずき けんいち	愛知県愛西市立八開中学 校・教諭	道徳授業における「主体的・対話的で深い学び」を実 現する指導と評価の在り方
8	脇之蘭 真理 わきのその まり	藤田保健衛生大学研究支 援推進センター 学術研究 支援推進施設・助手	日本の医学系大学における学用患者制度の研究
9	大久保 歩 おおくぼ あゆむ	大阪大学文学研究科文化 形態論現代思想文化学・博 士後期課程 3 年	フリードリヒ・ニーチェの政治思想:デモクラシーのジ レンマ
10	上村 聖果 かみむら せいら	東京医科歯科大学大学院 保険衛生学研究科看護先 進科学専攻	高齢者施設における認知症患者に対するアドバンス ケアプランニングの実態－本人中心の意思決定の実 現と家族や介護医療専門職の倫理的葛藤の軽減を 目指して－
11	高松 礼奈 たかまつ れいな	名古屋大学大学院教育発 達科学研究科・博士課程後 期	共感が道徳ジレンマ課題の意思決定に及ぼす影響
12	堀 沙織 ほり さおり	コロンビア大学大学院・博士 課程	認知的真正さについて
13	川端 美季 かわばた みき	立命館大学衣笠総合研究 機構・専門研究院	近代日本の国民性における潔白性をめぐる身体観お よび道徳観－入浴に着目して
14	藤田 さやか ふじた さやか	兵庫県立大学大学院看護 学研究科共同災害看護学 専攻	日本に在住する外国人の災害後の健康維持のため の、個人の文化に合わせた備え教育プログラムの開 発と検証
15	佐々木 雄太 ささき ゆうた	玉川大学農学部・非常勤講 師	「聖なるもの」の起源と現代の生における可能性

No.	氏名	職名	研究課題名
16	坂井 晃介 さかい こうすけ	東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻 関連社会科学コース・博士課程	福祉社会を支える理念をめぐる歴史社会学的研究: 19世紀後半ドイツにおける社会保障制度の形成過程 を事例として
17	林 創 はやし はじめ	神戸大学大学院人間発達環境学研究科・准教授	道徳性に基づく公正観の発達心理学的研究
18	蔦谷 匠 つたや たくみ	京都大学大学院理学科研究科・日本学術振興会特別 研究院 PD	現代日本における共同保育の実践の調査:生物と文化の 齟齬という視点から
19	陳 柏宇 ちん ぼうゆ	新潟県立大学国際地域学 部・講師	仏教による紛争解決可能なのか:中台関係の事例を もとに:
20	比嘉 徹徳 ひが てつり	法政大学経済学部・非常勤 講師	偶発性による倫理は可能か?:R.ローティによるフロ イト読解についての検討
21	高畑 菜子 たかはた なこ	新潟大学大学院現代社会 文化研究科人間形成研究 専攻・博士後期過程3年	18世紀における「コモン・センス」の思想的変遷とカ ント倫理学への影響
22	李 舜志 り すんじ	東京大学大学院教育学研究科 総合教育科学専攻基礎教育学 コース・博士課程3年	フランク・アンカースミットにおける歴史家の Bildung に ついて

平成 29 年度 研究助成対象者一覧 B 申請 (2 1 件)

No.	氏名	職名	研究課題名
1	御子柴 直子 みこしば なおこ	東京大学大学院医学系研 究科健康科学・看護学専 攻・助教	がん患者に対するアドバンスケアプランニングに関わ る医療者のコンピテンシーの実態調査ーがん患者の よりよい「生」と「死」を支える医療者教育の構築に向 けてー
2	太田 由紀 おおた ゆき	東京大学大学院人文社会 系研究科文化資源学専攻・ 博士課程学生	「人類共通の遺産」理念の共有と浸透に関する研究
3	天谷 祐子 あまや ゆうこ	名古屋市立大学大学院人 間文化研究科・准教授	児童期後半から青年期前半における死生観の発達 の実態とそれに寄与する発達心理学的要因の解明
4	伊藤 美智子 いとう みちこ	名古屋市立大学大学院看 護学研究科・博士課程後期 学生	医療者の死に関する体験・学習及び終末期ケア経験 が医療者の死生観に及ぼす影響
5	新納 美美 にいなる みみ	札幌学院大学大学院臨床 心理学研究科・非常勤講師	安心・安全感を創出する規範の再構成を促した支援者の思 考と倫理の関連ー司法の文脈における精神保健福祉士の 認識からの解明ー
6	赤澤 正人 あかざわ まさと	龍谷大学短期大学部こども 教育学科・准教授	子どもの自傷行為に対応する養護教諭のメンタルヘル スに関する研究

No.	氏名	職名	研究課題名
7	島田 彩子 しまだ あやこ	オウル大学教育学部大学院・博士課程後期第3学年	「他者理解」から「理解し得ない他者との共存」へ～多様性との共生を目指した教育のパラダイム転換と、その実践に向けて
8	小林 恭士 こばやし やすし	宮城教育大学・准教授	p4c(philosophy for children: 子どものための哲学)を基盤とした「学習するコミュニティ」形成の実践と評価に関する研究－理数教育を中心として－
9	岡崎 佑香 おかざき ゆか	一橋大学大学院社会学研究科・博士後期課程	ヘーゲル『法哲学要綱』および「法哲学講義録 1817－1831」における家族論の分析
10	師岡 友紀 もろおか ゆき	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻・講師	脳死とされうる状態の患者に関わる看護師の支援と困難
11	村上 優子 むらかみ ゆうこ	首都大学東京大学院人間健康科学研究科看護科学域・博士後期課程	受傷後長期の経過を辿っている脊髄損傷者が日常生活を組み立て直す経験
12	野澤 暁子 のざわ あきこ	名古屋大学大学院人文学研究科・博士研究員	「神聖音楽祭」という現象:音楽的紐帯によるグローバル・スピリチュアリティの理想と実践
13	本多 明生 ほんだ あきお	山梨英和大学・准教授	小学校におけるセクシャル・マイノリティ児童生徒への支援実態に関する調査研究
14	鈴木 朋子 すずき ともこ	お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所・研究協力員	佐々木月樵の修養論
15	森脇 崇 もりわき たかし	大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学・招聘教員	革新的医学研究(ブレイン・マシーン・インターフェイス(BMI)技術)の実用化がALS および高位頸髄損傷患者における人工呼吸器導入率に与える影響の調査研究
16	岡田 真弓 おかだ まゆみ	北海道大学創成研究機構・特任教授	先住民の遺骨・副葬品等をめぐる研究倫理の策定および実施に関する実態調査:カナダの事例を中心に
17	下野 葉月 しもは はづき	東京大学大学院人文社会系研究科・博士課程	近代の預言者:フランシス・ベーコンによる未来の改革
18	包 双月 ほう さら	東北大学大学院文学研究科・博士課程後期3年	定住農耕化したモンゴル人の自然との共生－遊牧的な自然観の持続と変化－
19	白崎 護 しらすき まもる	関西外語大学外国語学部英米語学科・准教授	社会分裂へおよぼすインターネットの影響－共生を実現する市民の政治参加に向けて－
20	永本 哲也 ながもと てつや	東海大学、獨協大学・非常勤講師	近世ヨーロッパにおける宗教的寛容と異宗派信徒間の共生に関する研究－他宗派並存都市ノイヴィートで宗派の違いを原因とした争いはいかに解決されたか？
21	市川 章子 いちかわ あきこ	一橋大学大学院言語社会研究科・博士課程後期	越境する人々の日本でのキャリア形成の研究

平成 29 年度 研究助成対象者一覧 継続助成（13件）

No.	氏 名	現職名	研究課題名
1	飯島 孝良 いじま たかよし	親鸞仏教センター嘱託研究員	室町期から近現代における一体「像」形成の分析—その生と死をめぐる語り—
2	孫 美幸 そん みへん	大阪大学大学院人間科学研究科 附属未来共創センター 講師	アジアの文化的重層性をもとにした多文化共生教育の再構築
3	藤澤 文 ふじさわ あや	鎌倉女子大学 児童学部子ども心理学科 講師	児童生徒の道徳性発達に関する研究:「考え議論する道徳」に向けた道徳教育プログラムの開発
4	竹之内 禎 たけのうち ただし	東海大学課程資格教育センター准教授	ロゴセラピーに基づく情報ユニバーサルデザインの思想と実践
5	佐藤 邦政 さとう くにまさ	敬愛大学 国際学部国際学科 専任講師	差異に対する感受性と固定観念を学びほぐす姿勢について—共生の経験に対する認識論からの—接近—
6	永山 智之 ながやま ともゆき	兵庫教育大学大学院学校教育研究科 臨床心理学コース助教	発達の偏り・未成熟を抱える青少年へのコンバインド・セラピー—心理教育への援用可能性
7	笹谷 絵里 ささたに えり	立命館大学先端総合学術研究科・一貫性博士課程	日本における新生児マス・スクリーニングの歴史的検証と現在をめぐる調査研究—遺伝医療としての倫理的課題から—
8	生野 里花 いくの りか	お茶の水女子大学基幹研究院 研究員	共生の一形態としての音楽療法臨床プロセス—その知の方法の探求—
9	清水 加奈子 しみず かなこ	自治医科大学医学研究科 博士課程	人生後半期における死別体験後の病的悲嘆に関する質的研究—重症化した「遷延性悲嘆障害」を呈した要因について、他者との関係性に着目して—
10	村山 拓 むらやま たく	東京学芸大学総合教育科学系 准教授	米国の学校教育における障害理解への取り組みに関する研究:「見えない障害」をめぐる言説と実践の展開
11	浅野 憲一 あさの けんいち	千葉大学 子どものこころの発達教育センター 特任助教	看護師および看護学生におけるセルフ・コンパッションがバーンアウトを介して倫理的行動と職場適応度を与える影響
12	二階堂 祐子 にかいどう ゆうこ	明治学院大学社会学部 非常勤講師	出生前検査の社会的倫理的課題に関する研究—妊娠と出生前検査に関する障害のある女性/男性の語りから—
13	日原 尚吾 ひはら しょうご	広島大学大学院 教育学研究科 教育学習科学専攻 心理学分野 博士課程後期2年	社会に望まれない生き方を自ら選びとる過程—過去経験に着眼した否定的アイデンティティの形成機序の検討—